

関連項目：教育活動プラン④、⑥

豊かな体験を通して多様な考えや生き方を学ぶ場の設定

目的

本校の児童は、自分の思いや考えを表現することが苦手とする傾向がある。そこで、豊かなかかわりを通したり、多様な考えや生き方を学び、互いを認め合ったりすることで、共に伸びていこうとする態度が育つと考えて、取り組むこととした。

内容

● なかよし班活動

栽培活動や運動会での競技、なかよし給食等を通して、お互いに認め合ったり、支え合ったりすることで役割への意識や温かい集団への帰属意識が高まると考え設定した。上級生は下級生のことを思いやりながら行動し、下級生はそこから一緒に活動することの楽しさや喜びを味わうことができている。

コスモス街道のかかし作りでは、班ごとに服装や顔や髪形など上級生を中心に話し合いながら行い、個性的なかかしが出来上がった。



● 家族・地域の人々との交流

低学年は「昔遊び大会」、中学年は「蕁加工体験」、高学年は「幼児・高齢者との交流」を設定している。様々な人々との出会いを通して、地域とのかかわりを強くし、主体的に行動できることを目的としている。

また、12月初旬に行われるクローバー集会では、自分たちの学びを表現するとともに、もちつき大会も行い、日頃支えてくれている人々に感謝の気持ちをおもちにして送ると共に、高齢者の家を訪問し小物入れと手紙を届ける活動を実施した。



● 鴨部川清掃

校区を流れる鴨部川をきれいにしようと毎年取り組んでいる。なかよし班ごとに範囲を決めて、土手を歩き、ごみを拾っていく。今年度は大雨の後ということもあり、たくさん集まった。子どもたちの感想の中には、「生活科の探検で、鯉が泳いでいるのを見たよ。もっときれいにしたいな。」というものもあった。この活動に合わせて、中学年は、地域ボランティアの方の支援によって環境学習も行っている。ふるさとを大切にするという視点から自分の生き方について考える場として設定した。



成果

なかよし班での活動（異学年交流）を積極的に設定することで、上級生としての自信や友だちを思いやる態度の高まりに繋げることができた。下級生は、その姿を見て、多様な考えを学ぶことができている。また、発達段階に応じた地域との絆を強める活動を取り入れることで、様々な人とかわり合い、お互いのよさを共感することのできる場として効果があると言える。